

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 4月 30日

事業所名 放課後等デイサービス メロディ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			放課後等デイサービス運営事業概要に乗っ取り利用定員スペース・設備等の広さは確保できている
	2 職員の配置数は適切である	7	1		個別対応も出来るように支援員の配置しています。強度行動障害児対応に不安がない様に業務の見直しもを行います
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			車椅子利用者等にも対応できるように玄関はスロープ設置・室内は段差はなくトイレは障害者用とバリアフリー化されている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		課題の整理や業務の見直しを今後も行っていき職員の意見も取り入れながら業務を行っている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			地域交流・父母の会などが評価表に表れているので保護者様の要望に答えられるようにスタッフと計画・企画を行っていきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			社会福祉法人光陽会ホームページに公開されている事の説明など行っています
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		現在第三者による外部評価は受けていない
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		社会福祉法人光陽会が年間研修を計画している	管理者が年間通して必要な研修を計画し資質の向上に努めています	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		学校・医療機関・相談支援事業所との情報共有	家庭以外で学校での状況を確認しながら支援が統一できる事は一緒に行う事などを会議で話し合いを行い放課後等デイサービス計画作成を行っています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		日常生活能力を中心にコミュニケーション・課題が分かるようにしている	5領域を含めてアセスメントの作り直しを行いました。より細かくアセスメントを行っています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			スタッフ全員から課題等を確認しています。いろいろな意見を取り入れてチームで支援しています
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			活動は室内外活動を選ぶ何をすることを子供たちが話し合い活動もあります。自主性が身につくようにしています
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		生活リズムが乱れない必要性	年間通してご家族にゲーム・YouTube規制をお願いし睡眠時間を確保してもらっています。登校渋りや疲れやすさが改善している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			不登校の子供利用時は無理に集団活動ではなく個別活動や疲れている子供はユックリ過ごす放課後等デイサービス利用を話しています
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			トラブルが予測される子供には事前にトラブルの行動を説明しておく・排泄に課題のある子供はトイレ誘導を行い習慣づけできるように確認している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			子どものトラブルがあったときは事前に予測出来ていたのか、突発的な行動対応に問題が無かったか等を話し合い支援に役立てている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			死にたいと訴える子供に対して利用審が悲しむ支援員も悲しむ辛いだねと統一して支援できる様になっている
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			送迎時に課題を日頃よりご家族と情報共有しながら改善出来ないことをモニタリングし計画の見直しにつなげている	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			社会福祉法人光陽会の事業の目的及び運営方針に基づいて支援を行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			サービス担当者会議には管理者および自発管理以外に担当支援員の意見や必要時は参加も出来ている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			ご家族からの時間割や行事予定表・学校からのメールを利用しながら対応することは出来ている。学校送迎が遅れる場合は学校連絡対応している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8			医療的ケアの子供は受け入れていない。利用者の家族・医療機関同意のもと緊急連絡簿の作成を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		相談支援事業所・児童発達との連携	児童発達事業所参加を確実にお願いしている支援をメロディで取り入れながら支援が出来るようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			高校入学した利用者は高校1年生から将来を見据え実習時の支援に必要な情報をナビゲーションブックにまとめ情報提供している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			法人が年間研修に強度行動障がい者研修等を計画し職員が研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		自立支援協議会子供部会で児童クラブや学童との会議開催を行ってもらう様をお願いしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8			協議会へ参加している。放課後等デイサービスの取り組みや利用が必要な子どもの利用が出来ていないことなどを訴えています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			モニタリング・個別支援計画でなく課題が見られれば家族に電話・連絡帳・送迎時を利用し情報共有を行っています
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5		ペアレント・トレーニングは行っていませんが子供が出来た事・放課後等デイサービス利用時に約束が守れた事等に対して「褒めてあげてください」とアドバイスは行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			利用契約時に書面にて丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			保護者からの悩み相談を待つのではなく連絡帳や送迎時を利用し困りごとがないか支援員から家族に声掛けをして話しやすい環境を作る事が出来ている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5		感染症の問題で開催が出来ていません。今後は参観日などを行いご家族がつながる計画を行っています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			苦情があった場合は直接話を伺い問題がどこにあるのか等確認し支援員全員と会議を行い早急な対応を行っています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月メロディ通信に行事・お知らせ・活動様子を掲載し配布を行っている。連絡帳・送迎時に行事・活動の様子も伝えるようにしている
	35	個人情報に十分注意している	8			個人情報の取り扱いに関して全職員に周知徹底を行っている。記録に関しても外部持ち出し禁止・適切にキャビネットに保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			視覚・聴覚・見本を見せる支援を行い子どもが見通しが出来る支援の提供、モニタリングなどを通して状況説明や家庭での絵カード支援を行ってもらう様にアドバイスしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		感染症の問題で開催は行っていません

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		緊急時マニュアル等職員徹底は出来ているが保護者に対しては利用契約時やモニタリング時などで再度説明を行っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		毎年10月・3月に防災・避難訓練を計画し実施しています。外出時の対応も行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止の研修会・勉強会を定期的を開催しています。(令和6年3月実施)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		放課後等デイサービス・メロディ内で身体拘束は行っていません。自傷行為や他害行為のある子供については自傷他害があった場合は報告を行っています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		利用前アセスメント時にアレルギーの確認を行い医療機関受診・服薬等の情報共有を行っています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		問題があればヒヤリ・ハット報告書を作成し全職員に閲覧・会議を行っています